

令和6年(2024年)11月16日(土曜日)

責争

戸戸

乘斤

戸戸

交流続く被災者へ 新米お届け



被災者に届ける新米を用意するメンバー
＝三島市のグラウンドワーク三島

「顔を合わせ、勇気づけたい」

GW三島、きょう

三島市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島は16日、交流を続ける能登半島地震の被災者を元気づけようと、市内を流れる源兵衛川の清流で育てたブランド米「ゆめみしま」を届ける。

GW三島は3月から3回にわたり、被災者家族計34組118人を招待し、富士山や伊豆地域を巡るツアーを開催。メンバーがたびたび

現地を訪れ、ツアー参加者と交流を続けている。今回は今月上旬に収穫したばかりの新米約80キロを用意。沼津市産のミカン約100キロと共に石川県能登町、珠洲市、七尾市を訪れて手渡す。

渡辺豊博専務理事によると、継続的な交流で被災者から苦勞話や弱音、将来に向けた相談を打ち明けてもらえるようになったといい「顔を合わせ、米やミカンを届けることで被災者を勇気づけたい」と話した。